



南アの里

学校教育目標「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

令和7年12月19日発行

文責：校長 横山啓二

充実した2学期になりました

師走に入り、氷点下となる厳しい冷え込みに、改めて季節の移り変わりを感じる今日この頃です。吐く息も白くなり、本格的な冬の訪れを肌で感じるようになりました。

さて長かった2学期も、来る12月23日（火）をもって終業を迎えます。この76日間、子どもたちが安全に学校生活を送ることができたのは、保護者の皆様、そして地域の皆様が、本校の教育活動に多大なる御理解と暖かい御支援、御協力をくださったおかげです。心より感謝申し上げます。

12月24日（水）から1月8日（木）までの16日間は冬季休業となります。夏休みと違い短い期間ですが、クリスマスやお正月など、家族みんなで楽しめる行事がたくさんあると思います。ぜひ、御家族で楽しい冬休みをお過ごしください。そして、大きな事故や病氣、怪我には十分注意していただき、1月9日（金）の3学期始業式には、元気な子どもたちに会えることを楽しみにしております。

どうぞよい年をお迎えください。

地域ふれあい道徳授業公開 参観ありがとうございました



11月19日（水）に行った地域ふれあい道徳公開授業には、たくさんの保護者の皆様に御参観いただきました。お仕事等で御多用の中を本当にありがとうございました。1年生は「きいろいベンチ（きまりや約束を守って生活する）」、2年生「ちくちくことばとふわふわことば（ことばの力について考えよう）」、3年生「おそろしいゲームいぞん（健康に気を付けて生活するには）」、4年生「インターネットは便利だけど（メディアとの向き合い方、ルール）」、5年生「ほっと！ネットセミナー（今こそ考えよう！スマホやゲーム機の使い方）」、6年生「租税教室（税金の使われ方）」と、学年・学級の実態を踏まえながら、道徳的価値内容を設定し、公開いたしました。これからも、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育てるために、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習に取り組んでいきます。



真剣さが伝わってきた児童会選挙・立会演説会

11月28日(金)、来年度の児童会役員選挙・立会演説会を行いました。11月上旬に立候補を届け出た候補者たちは、中旬から本格的な選挙運動を展開してきました。3年生以上の各学年を訪問し、休み時間には校内で遊説を行いながら、自らの公約と学校への熱い思いを懸命に伝えてきました。

そして迎えた立会演説会。候補者、責任者ともに、限られた時間の中で、堂々とした発表を繰り広げました。責任者は候補者の人柄や長所を具体的に紹介し、最後のお願いと応援を行いました。候補者は「どんな学校を目指したいか」というビジョンを明確に示し、それを実現するための具体的な活動計画を語りました。演説を聴く児童たちの態度もまた、大変立派でした。特に、



来年度には中学校に進学する6年生の真剣な眼差しが印象的でした。自らが築き上げてきた白根百田小学校の伝統と未来を誰に託すべきかを考えながら、演説者一人ひとりをまっすぐに見つめていました。

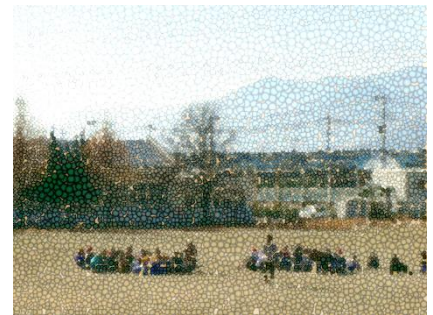


演説会終了後には投票と開票が行われ、来年度の児童会会長と副会長が選出されました。これから、選ばれた4名の新役員が中心となり、全校児童とともに来年度の児童会活動を力強く推進してくれることを期待しています。

予告なしで避難訓練を行いました

12月2日(火)、予告なしで地震発生時の「一次避難(シェイクアウト)行動」を確認する訓練を行いました。児童たちには前の週に各学級で、「地震を想定した予告なしの避難訓練がある」ことだけを伝え、具体的な日時は秘密にしておきました。

休み時間、児童たちが校庭や図書室、教室などそれぞれの場所で過ごしている最中に、「児童の皆さんはその場で身を守る行動をとりなさい」と訓練の放送が流れました。放送を聴いた子どもたちはすぐに耳をすまし、すぐに行動に移しました。教室にいた児童は机の下にもぐり、校庭にいた児童は校庭の中央に集まり、身を低くしました。思いがけない状況下でも、落ち着いて「自分の命を守る行動」をとる姿が見られました。



今回は、二次避難としての校庭への集合は行わず、校長の講評・講話は給食の時間に校内放送で行いました。講話のなかで、次の2点を特に強調して伝えました。「大切なのは、その時にいるところの危険を知ること」、「地震のときに建物が倒れたり、物が落ちてきたりするまでの時間はたったの3秒。揺れを感じたら、「まず低く」、「頭を守り」、「動かない」、この3つの行動で身を守ること」。また「今日、家に帰ったら、家族の人と『今地震が起きたらどうする?』と話してみましょう。自主学习ノートにそのことをまとめるととても良い防災の勉強にもなります。」とも話しました。翌日、さっそくこの取り組みを行った2年



生児童の自主学习ノートを見せてもらいました。家族で話し合い、自分の言葉でまとめていてとても感心しました。災害をなくすことはできませんが、被害を軽減すること(減災)は可能だと言われています。学校だけでなく家庭、地域が一丸となって防災意識を持ち続けることが、子どもたちの安全につながります。今後も危機意識の向上に努めてまいります。

